

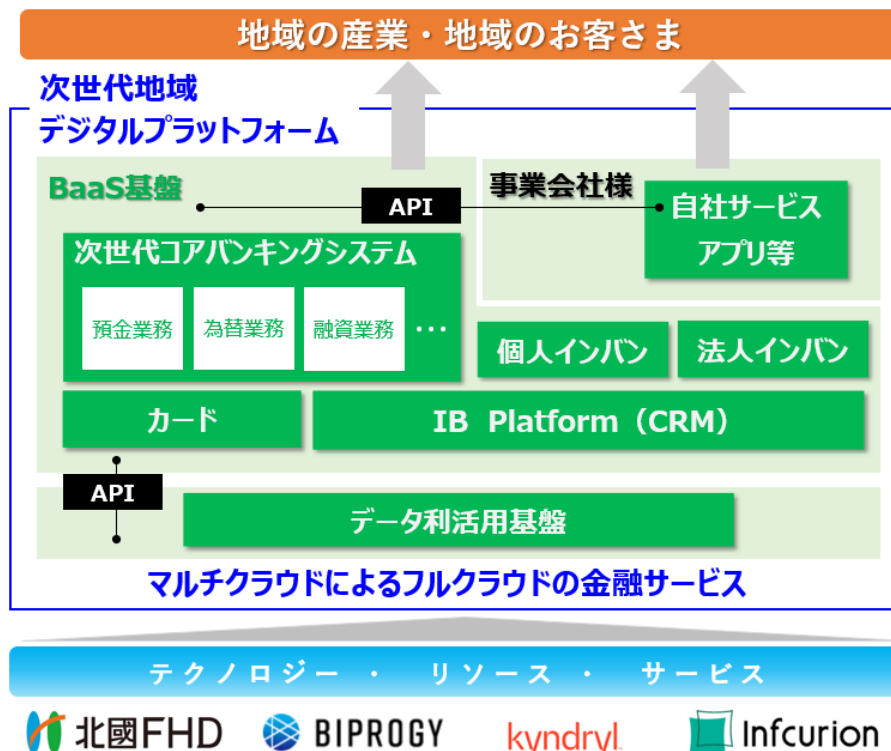
マルチクラウドによる次世代地域デジタルプラットフォームの構築を目指したプロジェクトの検討を開始

株式会社北國フィナンシャルホールディングス（本店：石川県金沢市、代表取締役社長：杖村修司 以下北國FHD）は、BIPROGY 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平岡昭良 以下BIPROGY）、キンドリルジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 上坂貴志 以下キンドリルジャパン）、株式会社インフキュリオン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：丸山弘毅 以下インフキュリオン）と共同でマルチクラウドによる次世代地域デジタルプラットフォームの構築を目指した検討プロジェクトを開始することをお知らせします。

【背景】

北國FHDは、クラウドを始めとして加速度的に進化するIT技術を活用し、営業の生産性向上や新たなビジネス領域への拡大を推進しており、2021年5月には国内で初めてパブリッククラウドでのフルバンキングシステムを稼働させております。

そのような中で、より良い金融サービスの実現や銀行経営の効率化を推進するために、フルクラウドの金融サービスを備えた次世代地域デジタルプラットフォームをマルチクラウドで構築するプロジェクトの検討開始を決定しました。



【マルチクラウドの強み】

金融システムにおいては可用性が非常に重視されています。複数のパブリッククラウドを活用するマルチクラウド化により、可用性が飛躍的に高まることが期待できます。

【次世代地域デジタルプラットフォームの特徴】

本プラットフォームの構築により、コアバンキングシステムに加えインターネットバンキング、カードシステム、様々なサブシステムの機能を有した統合基盤（IB Platform）などをフルクラウドで利用することで大きなコスト削減を期待しています。また、API・BaaS基盤を活用し外部サービスとのスムーズな連携が可能になることで、小売業やサービス業などの事業者様が自社サービスに低コストで代金決済や融資機能などの金融サービスを活用することが可能となり新たな付加価値の提供にもつながると考えております。

【今後の取組み】

今後は、本プラットフォームの構築のために各社の持つ知見を活かした新たな決済手段の提供やそれらを支える次世代バンキングシステムの開発を検討していくと共に、他の地域特性に合わせた展開なども目指して取り組んでまいります。

以 上

■ 関連リンク

株式会社北國フィナンシャルホールディングス

<https://www.hfhd.co.jp/>

BIPROGY 株式会社

<https://www.biprogy.com/>

キンドリルジャパン株式会社

<https://www.kyndryl.com/jp/ja>

株式会社インフキュリオン

<https://infcurion.com/>

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/